

# 手術前には、まず

## 禁煙

- point1 喫煙は手術の合併症を増やし、傷の治りも悪くします。
- point2 禁煙はいつから始めても合併症を減らす効果があり、早いほど有効です。
- point3 禁煙は手術後も継続することで、病気の経過を改善します。
- point4 受動喫煙も手術経過に有害です。家族が手術なら禁煙しましょう。

公益財団法人日本麻酔科学会

日本麻酔科学会のポスター（承諾を得て引用）

### ④5 たばこを吸っていると手術が…



【プロフィール】広島県生まれ。1976年広島大学医学部卒業後、聖路加国際病院内科勤務。99年東京医科大学循環器内科主任教授。2020年5月から現職。総合内科専門医、日本循環器学会専門医、前日本循環器病予防学会理事長。

本数にかかわらず、手術前まで喫煙している人と、肺炎一歩手前の状態になる人がほとんどで、術後経過が良くなる、という。

緊急手術以外は、禁煙するまでお断り。3週間の禁煙を確認し、その後手術します。たばこが原因で肺という病院も多々あります。

胃がやや大腸がんなどの開腹手術を行うと、術後に肺併症を起す確率は非喫煙者よりも約3倍です。たばこは慢性の気道の炎症より、せせら射や痰（たん）を出す力がきつくなりやす。

### 人生100年時代の健康管理

桐生大学総合医療学部副学長 山科 章

昨年からはこの健康を考え直す機会が、今回はたばこを吸っている人、ある国立病院呼吸器外科のホームページに掲載されている。手術を受けるべきのり

Q たばこを吸っている人、多くは禁煙できない人、手術を受けるべきか？

A 多くの病院で、肺の手術を受ける前に、術後合併症、に致命的にもなる肺炎や血腫の発生率が高

めです。

ほとんどは外科医、麻酔科医が同様メッセージを出している

手術は病気を治すために行うものですが、喫煙はそれを妨げる一因になるので、手術にやるべきは、前4週間の禁煙により、肺炎だけを大きく減らします。年々増える手術を受ける機会が増えます。今から禁煙しませんが、※次回には、加熱式たばこ・電子タバコでも

## 保健・福祉

◆毎週月曜連載 桐生大学・桐生大 学短期大学部副学長の山科章さんは、同大学医療保健学部の学生などに講義も開講している。